

## 理科の課題プリント⑤⑥について（学習補助資料）

今回の課題プリント⑤⑥をする前に、少し予習をしましょう。教科書を広げて、次の説明を読んでから、課題プリント⑤⑥に取り組んでください。

### 花のつくりの観察【教科書 P.16～20 の 9 行目まで】

小学校で学習したように、花のつくり（部品）には、下の4つがあります。

1つの花をじっくり観察し、花のつくりと名前を確認してみましょう（P.18、19）

①花びら⇒ 花弁（かべん）

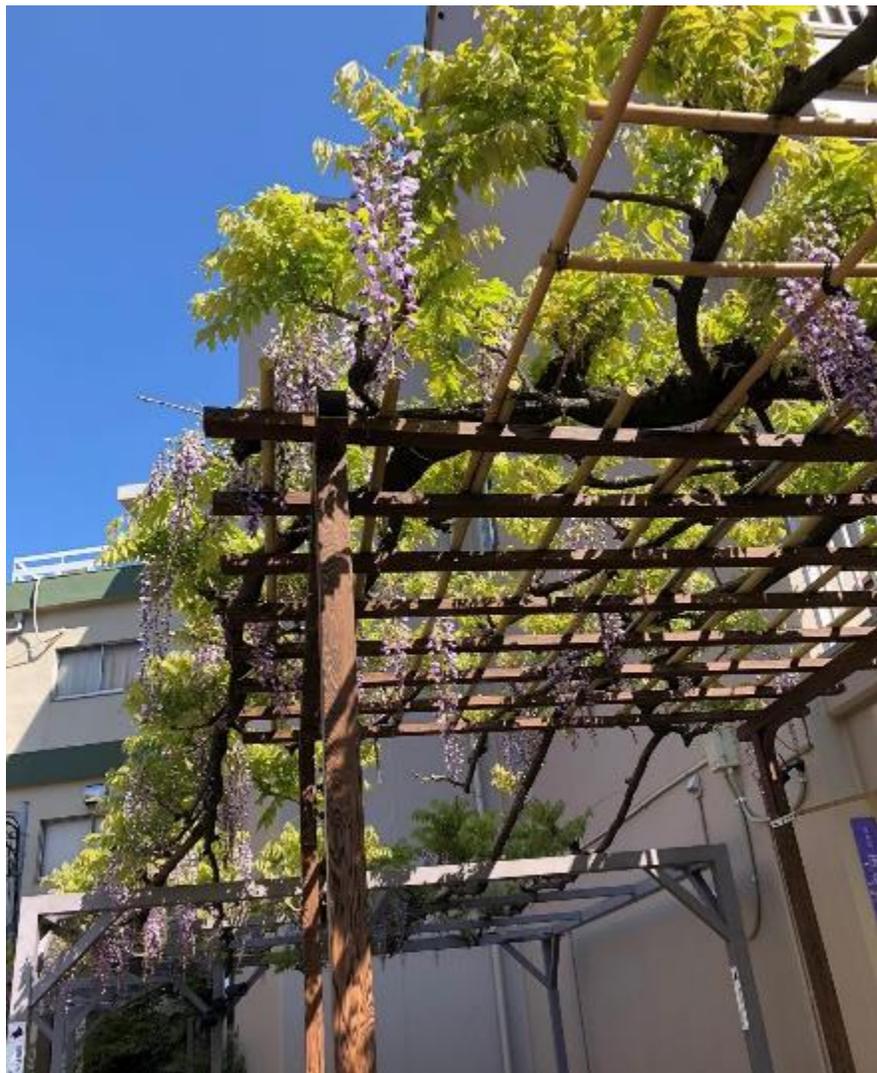
★中学校からは花びらを花弁と呼びます

②めしべ（花の中心にあることが多い）

③おしべ（花粉があるところ）

④がく（花の一番外側にある）

教科書では、アブラナとツツジの花を観察していますが、先生は、フジとサツキツツジでやってみました。花の種類によって、色や大きさ、形はちがうけれど、4つのつくりはちゃんとありました。確認してみよう！



# フジ (マメ科の植物)

4月中旬～  
5月上旬に、  
紫や白の  
良い香りの  
する花が  
咲きます。

藤棚





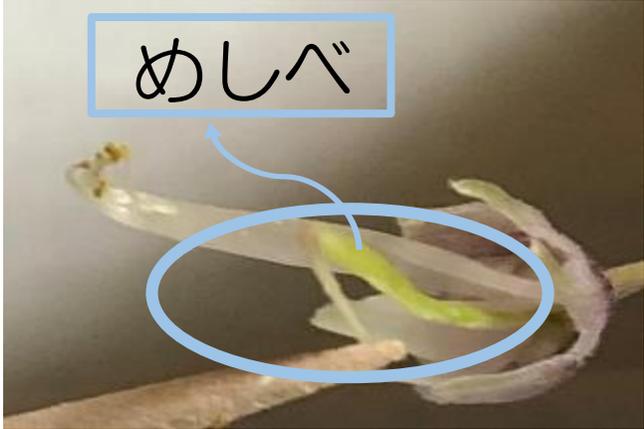
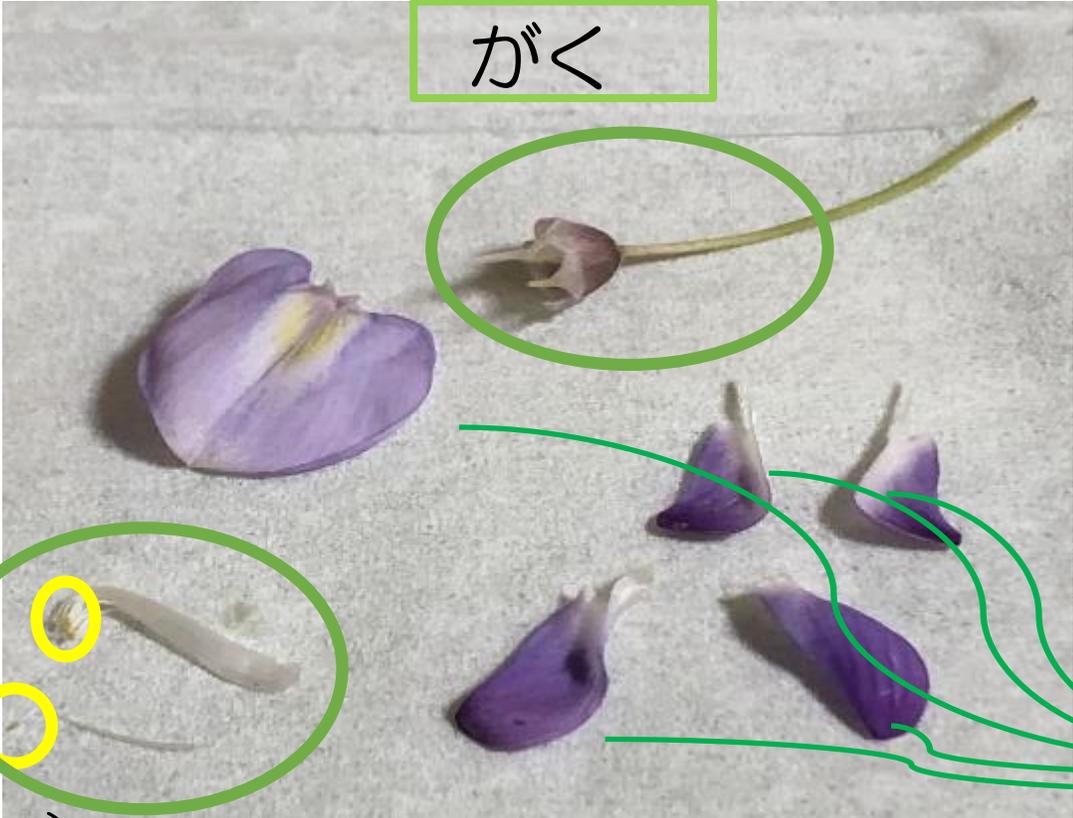
1つの花



正面のようす

1つの花を分解してみると・・・

おしべを、めくると中心にある



おしべ  
10本

やく

花粉が  
入っている)

花弁

1枚1枚が  
離れてれている  
ちがう形が  
5枚

花弁が1枚1枚離れている花を

離弁花（りべんか）

と呼ぶ

フジの他には・・・

サクラ

アブラナ



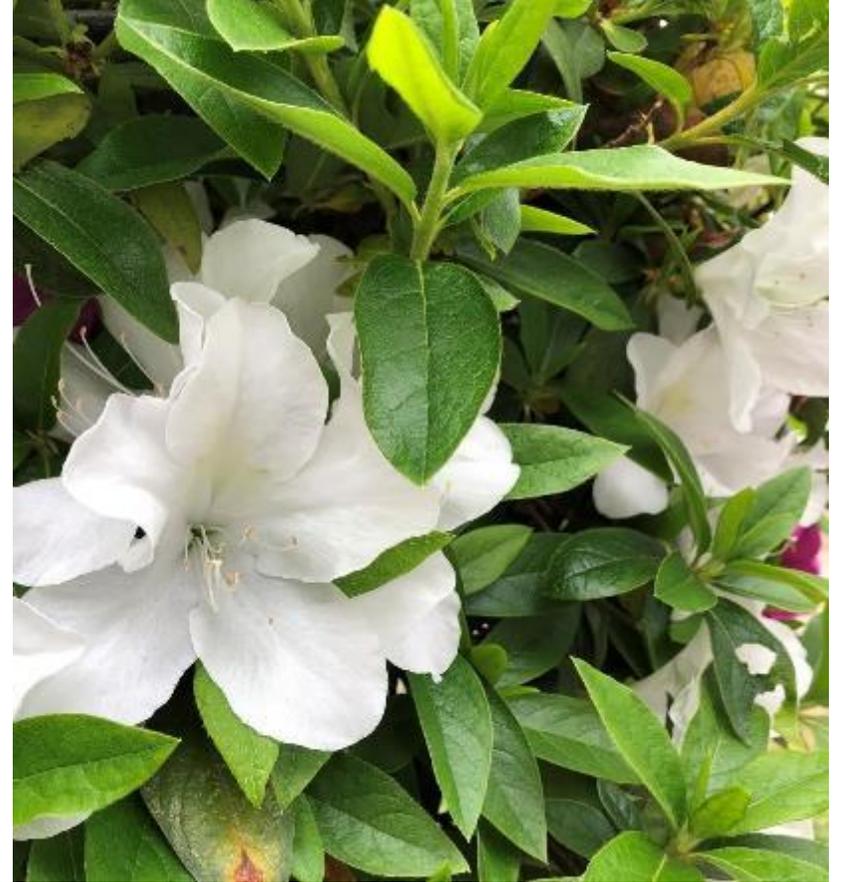
エンドウ・カラスノエンドウもフジと同じで  
1枚が大きく、2枚、2枚が同じ大きさで  
計5枚の花弁がついている

# サツキツツジ



4月下旬～5月に多くの花を咲かせる。白、赤以外にピンク等様々な色がある。

# ツツジ



1つの花を分解してみると・・・

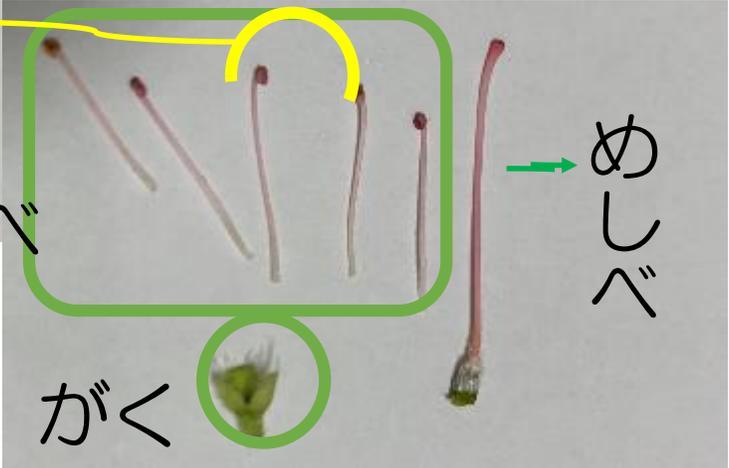


花弁5枚が  
根元でくっついている



やく

おしべ  
5本



がく

めしべ

花弁がくっついていてる花を

合弁花 (ごうべんか)

と呼ぶ

ツツジの他に… アサガオ

タンポポ (キク科の植物)



花弁 5 枚  
がくっつ  
いてる

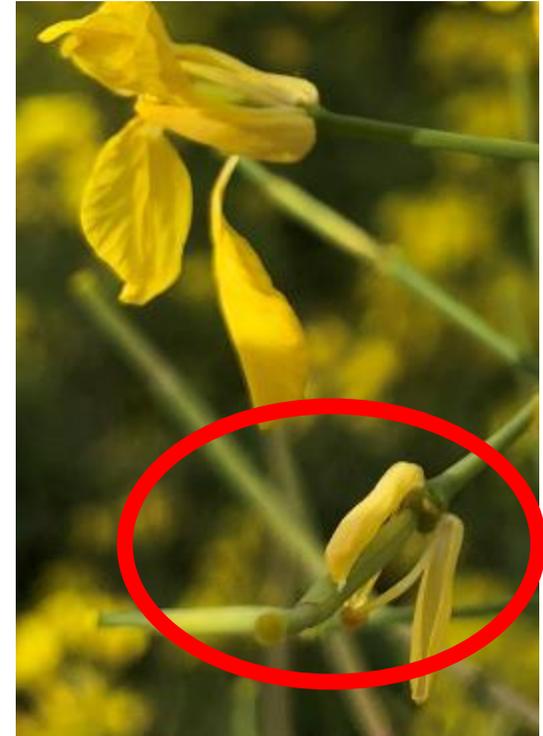
## 花のはたらき【教科書 P.20 の 10 行目～P.23 まで】

種類によって、花弁、おしべ、めしべ、がくの形や色はちがっても、それぞれの花には、同じつくりがありました。そして、花の時期は終わります。

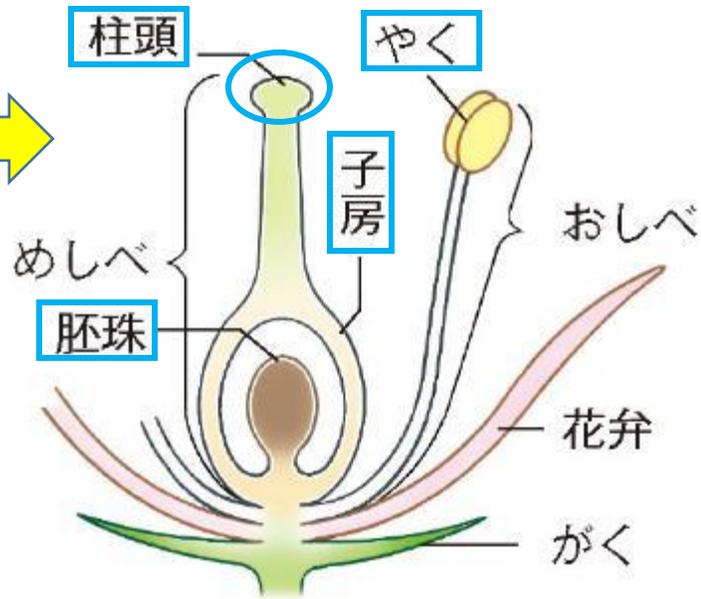
○ しかし、花弁やおしべが枯れたあとも  
めしべは残ります。つまり、最も重要な部品は  
めしべということです。では、なぜ？

教科書 P.21 の写真にもあるように、やがて、  
めしべの中で種子（しゅし）ができるからです。

めしべの中にある種子になる前の小さな粒を胚珠（はいしゅ）といいます



覚えてね！



小学校で学習した4つの花のつくりは  
中学校では、もう少しくわしく部分名も  
ふくめて学習します。(左図青色の部品)

胚珠が入っているめしべのふくらんだ  
部分を**子房** (しぼう) といい、胚珠が  
種子になる頃には、子房も成長して

**果実** (かじつ) になります。つまり、果実の中に種子があるのです。

★私たちが食べているサクランボやメロンなどの果物 (くだもの) だけでなく、  
ピーマンやカボチャも、中にたくさん種子があるので果実ですね。

○ では、なぜおしべは必要なのでしょう？

めしべの中で種子に変化するためには、まず、花粉が必要です。

めしべの先に花粉がつくと、ようやく、変化のきっかけができます。

これが**受粉（じゅふいん）**です。

受粉しやすいように、**めしべの先は**  
ベタベタしているなど、工夫されています。

そして、**受粉さえ終われば、おしべは不必要。**

⇒ **だから、おしべは枯れるのです**

その頃、柱頭も目立たなくなっていくます。

柱頭（ちゅうとう）という

ツツジの柱頭

タンポポの柱頭



最後に・・・花にとって、もっとも重要な部品はめしべとおしべということですよ  
(めしべの中の胚珠 と おしべの中の花粉)

Q1 では、美しい花弁は何のためにあるのでしょうか？  
花の香りや、花のみつは何のためにあるのでしょうか？

Q2 種子のまわりの果実は、何のためにあるのでしょうか？  
(人間に食べられるためではありません)

考えたことをノートに書いておこう。

(では、課題プリント⑤⑥に取り組んでください。答え合わせもして、提出しましょう。)